

公安委員会	令和3年における被疑者取調べ適正化のための	令和4年2月10日
説明資料No. 1	監督に関する規則の施行状況について	長官官房

1 被疑者取調べ状況の確認、巡察等

都道府県警察及び皇宮警察は、規則の定めるところにより、被疑者取調べ状況の確認、巡察等を実施。

2 令和3年中の監督対象行為の件数（いずれも都道府県警察）

監督対象行為（規則第3条） 8件（7事案）

※ 被疑者取調べの件数：約109万3,000件

表1 監督対象行為の類型別内訳 (件)

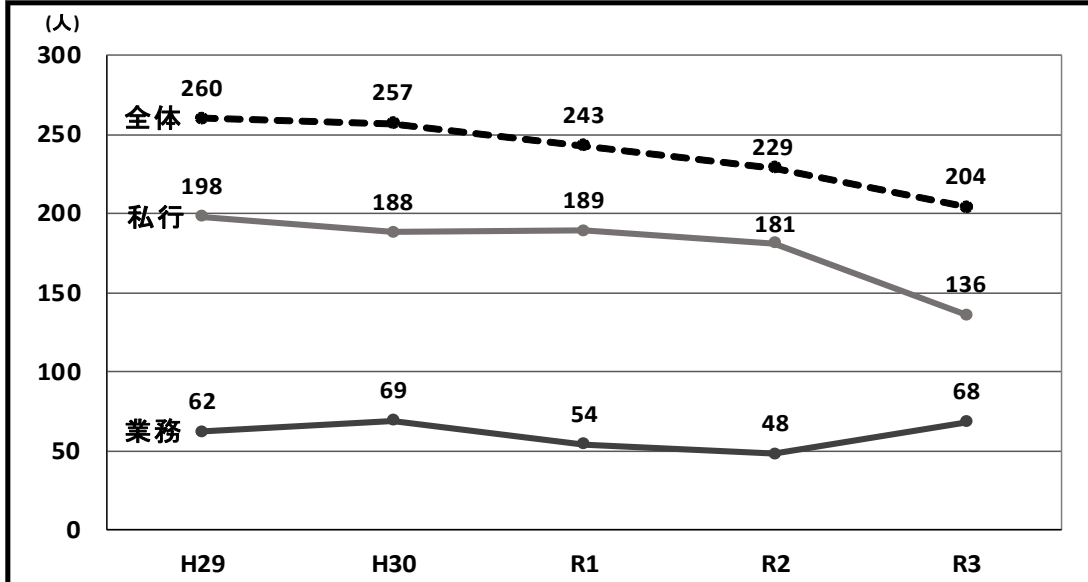
監督対象行為の類型	H29	H30	R1	R2	R3
やむを得ない場合を除き、身体に接触すること	2	0	1	1	0
直接又は間接に有形力を行使用すること(上記に掲げるものを除く)	3	1	2	4	4
殊更に不安を覚えさせ、又は困惑させるような言動をすること	2	2	2	4	2
一定の姿勢又は動作をとるよう不当に要求すること	0	0	0	0	0
人の尊厳を著しく害するような言動をすること	0	1	2	3	0
便宜を供与し、又は供与することを申し出、若しくは約束すること	5	3	3	5	2
合計	12 (11)	7 (6)	10 (7)	17 (12)	8 (7)

※ 合計欄の括弧内の数値は事案数。

表2 調査（監督対象行為）の端緒別内訳 (事案)

警察部内で認知	取調べ状況の確認	0	5
	捜査部門からの連絡	3	
	留置部門からの連絡	2	
苦情等で認知	苦情等の申出	2	2
	その他	0	
合計			7

1 懲戒処分者数の推移



2 事由・処分別

(単位：人)

区 分	免職	停職	減給	戒告	合計
職務放棄・懈怠等		1	2	2	5(-2)
被疑者事故等				3	3(-1)
情報管理・取扱不適切		1		1	2(+2)
職権濫用・収賄供応等	5	9	2	5	21(+17)
犯人隠避等		3	6		9(+4)
公文書偽造・毀棄、証拠隠滅等		3	2	3	8(-4)
物品管理不適切等				2	2(+2)
その他の勤務規律違反等		1	9	8	18(+12)
暴行・傷害等		2	7	4	13(-3)
窃盗・詐欺・横領等	7	5	18		30(-10)
交通事故・違反	2	9	6	6	23(-9)
異性関係	5	14	29	11	59(-32)
その他の法令違反等	4	1	2	4	11(-1)
監督責任					0(±0)
計	23 (-6)	49 (+2)	83 (-33)	49 (+12)	204(-25)

※ () 内は前年比を示す。

公安委員会 説明資料No. 3	令和3年における通信傍受 に関する国会への報告について	令和4年2月10日 刑事局
--------------------	--------------------------------	------------------

1 国会への年次報告等

通信傍受法第36条の規定に基づき、前年中の通信傍受の実施状況について、閣議を経て、国会に報告するとともに、公表するもの。

※ 法務省・厚生労働省・国土交通省との共同閣議請議

2 報告内容

令和3年中は、警察において、組織的な薬物事犯11事件、組織的なけん銃事犯3事件、組織的な殺傷事犯3事件、組織的な窃盗事犯1事件、組織的な詐欺事犯1事件及び組織的な恐喝事犯1事件の合計20事件に関し、携帯電話を対象とする40件の傍受令状の発付を得て傍受を実施し、その結果、計88人を逮捕したものの。

なお、令和3年に入り、令和2年中に傍受を実施した6事件で、計31人を逮捕している。

※ 令和2年中の実施状況

- ・ 実施事件～20事件
- ・ 傍受令状の発付～50件

3 参考

平成12年8月の通信傍受法施行から令和3年までの間における同法の適用は、195事件（傍受令状発付581件）となった。

公安委員会 説明資料No. 4	北京冬季オリンピック・パラリンピック大会を 巡るテロ情勢等について	令和4年2月10日 警備局
--------------------	--------------------------------------	------------------

1 北京大会開催概要

(1) オリンピック大会

期 間：令和4年2月4日（金）～2月20日（日）までの17日間

開催場所：北京市（市中心部及び延慶区）、河北省張家口市

参加規模：約90カ国、約3,000人（日本代表選手団は約270名）

競技数等：15競技、109種目

※聖火リレーは2月2日～4日までの3日間、北京近郊で実施。

(2) パラリンピック大会

期 間：令和4年3月4日（金）～3月13日（日）まで10日間

参加規模：約740人（日本代表選手団は約70名の見込み）

競技数等：6競技、78種目

(3) コロナ感染対策

○ 大会関係者らは、原則として、中国への渡航14日前までの完全なワクチン接種を義務付け、滞在中は外部との接触を遮断する「クローズド・ループ」内での生活等を行うなど厳格な感染対策を実施。

○ 海外からの観客はなし（招待客のみ）。チケットの一般販売は見送り。

2 北京大会を巡るテロ情勢等

(1) 大会を名指ししたイスラム過激派によるテロ予告は確認されていない。

(2) 中国国内では、2日から開始された聖火リレーを含め、現時点までに妨害活動等は把握されていない。

(3) 中国国外では、人権問題を巡り中国に対する非難が強まっており、欧米諸国を中心に大会開催に反対する抗議活動も確認（2021年10月18日、ギリシャでの聖火採火式会場に人権活動家が侵入）。

(4) 中国当局の発表によると、主要会場の周辺を含め、現在までに大きな犯罪及び交通事故の発生はない、とのこと（2月8日現在）。